

社会・環境部会 2022年度第4回運営小委員会議事メモ(案)

2023年2月17日

社会・環境部会 事務局長

山本 隆一

1. 日 時：2月16日（木）10時00分～12時20分
2. 場 所：Zoom ミーティングルーム(ホスト；山本)
3. 出席者；土田部会長、佐田副部会長、諸葛委員、廣瀬委員、寿楽委員、高木委員、稲村委員、小林委員、布目委員、竹田委員、桑垣委員、北田委員、山本事務局長

4. 議事；

(1) 部会長挨拶

本日の議事に年度末に任期が来る委員紹介があるが、本日は運営小委員会内の役割分担なども含めて見直しを進める端緒としたい、との発言があった。

(2) 前回議事メモ確認

山本より資料 22-4-1 に沿って前回議事録案を紹介した。既に供覧済みでもあり、特にコメントもなかったが、今一度確認の上、コメントなどあれば別途事務局長に連絡することを前提に、了承することとした。

(3) 部会表彰について

① 2022年度の表彰候補について

佐田表彰小委員長より資料 22-4-2 に沿って説明があり、表彰小委員会において3つのカテゴリーにおいてそれぞれ表彰候補が選定された旨の報告があった。審議の結果、今回は優秀発表賞、奨励賞については各1件を決定し、業績賞、優秀活動賞については見送りとする事となった。

② 表彰状作成について

山本より資料 22-4-3 に沿って説明を行った。経費節減の観点から今期は外部委託を止め、表彰状文案を運営小委員会内で作成した上で、事務局に表彰状印刷を依頼する方向で承認された。この方針変更により予算的には半額程度に縮減される見込みとなった。

(4) 2023 年春の年会への準備について

① 2023 年春の部会全体会議 議事次第 (案)

山本より資料 22-4-4 に沿って例年に倣った構成としている旨、説明を行った。また、全体会議終了後、表彰式の代替えとして表彰小委員長からの部会表彰案件の紹介、部会長からの挨拶等を行うことで了解された。

② 研究専門委員会との合同企画セッションについて

寿楽委員より資料 22-4-5 に沿って、登壇者やセッションの進め方について説明があった。その中で、当該セッションで中心となる東大の関谷先生については非会員であることから少額ながら謝金と旅費を支払うことで承認された旨報告があった。

(5) 定例報告等

① 部会等運営委員会の状況について

稲村委員より資料 22-4-6 に沿って説明があった。その中で、今後の年会大会の開催方法、開催場所等については結論が出なかったため継続検討事項となったことが紹介された。

また、ポスターセッションの審査員については当初 2 名という話だったが、参加者が 40 名程度と少なかったため、春の年会では従来通り 1 名で行くことになったとのこと。

今年度実施したウィークリーウェビナーについて一旦一区切りとして今後どうするかは各部会で議論してもらいたいとのことであったが、部会長より当部会としては協力はやぶさかではない旨伝えてほしいとのコメントがあった。

この他、プログラム編成委員の交代については引き続き検討して行くこととなった。

② 2022 年度予算執行状況等について

高木委員より資料 22-4-7-1 に沿って今年度の執行状況について、資料 22-4-7-3 に沿って次年度の予算について説明があった。次年度は総務財務委員会の強い意向に沿って、会場費、旅費など例年に比べてかなり絞り込み、何とか部会に割り当てられた予算額に収めたものとしたとのこと。但し、この金額内であれば科目間での融通は可能で、例えばマスメディア交流会の会場費など、やり繰りによって支出できる旨の共通認識がなされた。

③ マスメディアとの関係構築

廣瀬委員より資料 22-4-8 に沿って 1 月 13 日にハイブリッド方式で開催した第 13 回マスメディアとの交流会及び次年度の計画について説明があった。この内、1 月 13 日の交流会では、参加したメディア側は 14 社 26 名、部会関係者 12 名で、活発な質疑応答が行われたとのこと。予算的には講師の黒崎先生が別件と日程が重なったことから旅費が不要になり当初予算より減額になった、との説明があった。

また、次年度の予定として来年 1 月頃開催に向けて同様な形式で交流会を実施する予定であるが、会場としては先に運営小委員会委員より頂いた情報を参考に、より少ない経費で使える会場を考えたいとのことであった。

④ ポジション・ステートメント WG に関わるトピックス

山本より資料 22-4-9 に沿って PS 改革の現状を報告した。大筋としてはこれまで紹介してきた内容と変わらないが、会長の意向を受けて PSWG から PS 候補の提案ができるような文言を PSWG 規約に盛り込むこととなった旨紹介した。また、一連の手続きが完了し次第、当部会としても既存の PS の見直しなどが必要になるので、運営小委員会としても PSWG の検討チームは継続設置をお願いした。

⑤ 部会 HP の管理状況について

木藤委員欠席のため、提出いただいた資料を確認の上、メール等で木藤委員にコメント等することとなった。

(6) その他（運営小委員会委員の任期更新等について）

部会長より、任期更新については申し出がない限り、原則委員継続でお願いしたい、との意思表示がなされ、特に異論は出なかった。また、佐田副部会長より新委員候補者の提案があり、その方向で調整してもらうこととなった。運営小委員会の役職者に女性がいないのは好ましくないとのことで意見交換したところ、企画小委員長について佐田副部会長兼務から小林委員に変更すること、また非公式に事務局長を補佐してきた高木委員を新たに事務局長補佐との役付けをすることで了承された。なお、この 2 名が務めている財務担当については引き続き兼務してもらうこととなった。

この他、しばらくご出席頂いていない久保委員については相談役といった役付けにする方向で調整することとなった。

以上